

専門学校に通うことです。専門学校で講義を受けると、すごく勉強した気にはなりません。しかし、じつは「歩留まり」がとても悪いのです。3時間の講義を聞いたとしても、ただ聞いているだけでは、覚えていく内容は、1割しかないと言われています。聞きながらメモをとったとしても、3割しか記憶に残りません。

そして学校に通うには行き帰りの時間も必要です。そうした時間をかけて講義を受けて、身に付くのが3割だとすれば、時間効率が悪過ぎます。ですから、私自身は、塾や専門学校というものにほとんど通ったことがありません。模擬テストや実力テストなどは受けていましたから、その後には解説講義などもあるのですが、それさえ受けませんでした。

私自身、その方法が正しいと確信してこれまでやってきました。実際に成果が出ていますから、正解だと言える

のではないでしょうか。

ただ、自学自習をしていると、自分では理解できないところも出てきます。そのときに、その部分だけ講義を聞いたり、誰かに教えてもらう方法があれば、最も効率よく勉強することができます。極論すれば、それ以外の講義は必要ありません。テキストを読んでわかるのであれば、そのほうがよほど効率はいいのです。

繰り返しになりますが、私は、専門学校に通って「講義を聞く」スタイルでは成果は出ないと考えています。これまでの勉強法というのは、まずは、講義を聞いてから自分で勉強しよう、みたいなところがありますが、それでは成果が出ないのは当たり前です。

なぜそのような方法になってしまったのかというと、学校教育が「まず講義」というスタイルになっているからです。そもそも、まず予習してから講義を聞く形になっていません。予習で

わからないところだけ講義を聞くことができるスタイルになっていけば、効率がいいのですが、そうはなっていません。

問題はモチベーションの持続



自学自習を実践して、わからない部分だけを誰かに教えてもらえる環境を整えることこそ、ゴールに最短で到達する方法なのですが、ここでも1つの問題が生じます。継続性です。いくら効率よく進む方法を手に入れたところで、継続できなければ役に立ちません。それが自学自習の最大の欠点です。自分で自分を戒めるのはなかなか難しいものです。いろいろな理由をつけて、ついサボってしまいます。忍耐強くないかに継続していくのが最大のポイントになります。これはダイエットと